

# 南高魂

令和5年 7月18日発行  
北海道旭川南高等学校  
学校だより第2号

## 南高ならではの学校祭



第64回南高祭が7月8日(土)～10日(月)に実施されました。コロナウイルス感染防止対策の緩和により、4年ぶりに本来のプログラムに沿った内容で行うことができました。準備期間や開催中では、今年度の南高祭テーマ「南高生の南高生による南高生のための南高祭」にふさわしく、生徒たちが協力し、自身と南高生の中間のために南高祭の様子が見られました。



学校祭初日には開祭式や団結式、夕方には南高祭恒例の万灯行列、花火打ち上げが実施されました。式は執行部や連合長を中心に進められ、非常に盛り上がりました。万灯では、浴道にこれまでにないほど多くの方々に見に来ていただき、喜びの声をいただきました。



2日目は一般公開日で多くのご家族や地域の方々、本校の卒業生や他校の学生に來校していただきました。3日目は文化部発表や連合長企画、閉祭式が行われ、3日間の日程を無事に終了することができました。南高本来の学校祭を経験していない生徒たちでしたが、執行部や連合長を中心にリーダーシップを発揮し、盛大に開催することができました。たくさんのご協力をいただいたPTAや保護者の方々、本当にありがとうございました。



## 1年次生(15期生) Set-Up プログラム ・「学問、職業調べ学習」(産業社会と人間) 実施

4月8日(土)に199名の新入生(総合学科15期生)を迎え、本年度の南高校の活動が始まりました。本年度より1クラス減となり新入生の数は減りましたが、やる気に満ちた表情は例年と変わりのないものでした。

総合学科の目玉である「キャリア学習」の入門を目的とした「Set-Up プログラム」が4月13日(木)～17日(月)の3日間、実施されました。ほとんどが初対面の生徒同士がHRの枠を外したグループや年次全体での学習活動を中心に進められました。

「学ぶ意義を考える」からスタートし、富良野塾による「コミュニケーショントレーニング」で初日が終了しました。2、3日目では「SDGs(持続可能な開発目標)を考える」を中心に学習が進められました。クラスの枠を外し4人一組のグループが各自の課題を設定し、仮説を立案・検証しまとめる作業をおこない、ポスターを作成し、プレゼンテーションする活動に全生徒が真剣に取り組みました。互いにコミュニケーションを取り課題を解決する南高校の独自の学びの形を体験し、南高生としての自覚と充実した3年間の高校生活をイメージすることができたのではないかと思います。



## 2年次生 課題研究スタート

4月から「総合的な探究の時間」で取り組んでいる『課題研究』では、それぞれの生徒が自分の興味関心や進路に合わせてテーマを設定し、各分野のゼミに分かれて研究を進めています。

課題研究のねらいは、自ら構想と計画を立て、実験や調査、文献からの考察を含めて研究結果をまとめる経験を通して、「考える力」「判断する力」「表現する力」などを身につけようというものです。他の教科の学習と違って、正解のない問題について、時間をかけて自ら解決する力を養っていきます。

本年度はコロナ感染防止対策も緩和され、昨年度より校外での活動も行いやすくなったため、10月4日に行われる『ポスター発表』の内容が例年以上に充実したものになるのではないかと期待しています。

また、本年度の新たな取り組みとして『ポスター発表会』と同じ日に『学校見学会』を開催し、中学生のみなさんに『ポスター発表会』を見学していただき、総合学科への理解を少しでも深めていただければと思っています。本年度からの取り組みであり詳細を検討中です。多くの方のご来校をお待ちしております。



